

島田第四小学校新校舎建設工事の安全を祈願

◎教育総務課 ☎36-7953

8月21日、島田第四小学校で現校舎の解体と新校舎建設に向けて、安全祈願祭が執り行われました。

関係者約40人が出席し、染谷市長や施工業者、設計業者が地鎮の儀に参加。関係者が玉串を捧げ、工事の無事を祈りました。

第四小学校の現校舎は、8月22日から順次解体し、新校舎の完成は令和3年1月末ごろを予定。完成までの間、児童はグラウンド内の仮設校舎で授業を行います。



玉串を奉納する島田第四小大塚政浩校長

賑わい交流拠点の名称「KADODE OOIGAWA」を発表

◎内陸フロンティア推進課

☎36-7392

8月2日、市・大井川農業協同組合・大井川鐵道(株)・中日本高速道路(株)の4者が、新東名島田金谷IC周辺に整備を進めている賑わい交流拠点の名称とロゴを発表しました。

施設名は「KADODE OOIGAWA」。大井川流域の農業や、地域の魅力に触れ、縁を大切にするという思いが込められています。施設には、日本最大級のマルシェや、SLの見えるレストラン、カフェなどを整備。令和2年11月ごろのオープンを予定しています。



施設名称とロゴマークを発表する関係者

島田市総合防災訓練で大規模災害への対応を確認

◎危機管理課 ☎36-7143

8月25日、大規模災害を想定した島田市総合防災訓練を実施。各地区の自主防災組織による訓練や、市の災害警戒本部運営訓練などが行われました。

島田第一小学校では、稲荷町の一部と向谷町が、地区防災訓練を実施。住民による放水訓練や炊き出し、応急手当講習やチェンソーで倒木を切るなどして、災害時に助け合えるよう「共助」に備えました。

またプラザおおるりでは、災害警戒本部を設置し、運営訓練を行いました。南海トラフ地震の臨時情報が発表され、巨大地震が数日以内に発生す



チェンソーで倒木を切断



倒壊家屋に見立てた木材からけが人を救出

る想定で、各対策班の代表が対応を検討。関係機関とも連携し、事業継続や住民避難の要否など、意思決定が的確にできるかを確認しました。

一方、相賀小学校では、南海トラフ地震の臨時情報に対応する災害発生前の住民避難訓練を、夜間に初めて実施。暗所通過訓練では、参加者は目隠した状態で、介助を受けながら障害物が設置されたコースを通り抜けました。倒壊家屋からの救出訓練では、家屋を解体しけが人を救出。同じ訓練を陸上自衛隊が実演すると、参加者から感嘆の声が上がりました。

市と住民は、昼間とは違う夜間の訓練を通して、新たな課題や備えの必要性を改めて実感しました。

市男女共同参画の日に「女性議会」を開催

☎市民協働課 36・7121

「島田市男女共同参画の日」の7月30日、6回目となる「島田市女性議会」が市議会議場で行われました。

登壇したのは、高校生を含む市内在住の女性8人。議会の一般質問の手順に沿って進められ、観光や福祉、地域活性化など、それぞれの立場から出された幅広い質問に対して、市長や幹部職員が答弁しました。

島田樟誠高校2年生の杉村美桜さんは「少子高齢化が深刻化している今、大人だけでなく、子どもも介護を学ぶべきなのは」と述べ、介護相談に関する市の取り組みなどについて質問しました。

【質問内容の一部を紹介します】

- ◎ 大井川流域のツーリズムについて
- ◎ 介護対策について
- ◎ 初倉地区におけるバスの運行について
- ◎ 通学路の安全確保について
- ◎ 市民が多様な繋がりを築くための行政支援について
- ◎ 生涯スポーツを活用した地域活性化について
- ◎ 障害者および高齢者の移動について
- ◎ 住民が参加する島田のコミュニティづくり
- ◎ 島田市の賑わいづくり
- ◎ バリアフリー みんなの居場所づくり



女性議員の皆さんと村田議長(中央)



市政への提案や意見を投げかける女性議員

災害時の公衆衛生に備え市と島田環境組合が協定

☎下水道課 35・7721

8月21日、市は島田環境組合と「災害時におけるし尿等の収集運搬に関する協定書」を締結しました。

協定書には、避難所などの公衆衛生を確保することを目的に、災害時の仮設トイレなどに溜まる、し尿などの収集運搬を円滑に遂行するための基本事項などが定められました。市長は「被災地における公衆衛生の確保は大きな課題。災害に対して、迅速かつ的確に対応できるように、今後はより強固な連携に取り組んでいく」と話しました。



協定書にサインをする酒井組合長(右)と染谷市長

官民一体で地方創生に向けた取り組みを議論

☎戦略推進課 36・7127

「島田市まち・ひと・しごと創生市民会議」が8月28日、市役所で開かれました。会議は、自治会連合会や商工会議所、商工会、県立大学の学生など「産官学金労言」の団体が構成されています。会議では、各団体の代表者と市が一体となり、令和2年度から始まる第2期総合戦略の策定などに向けて協議しました。

委員に加わった島田高校の生徒は「地域社会や民間企業と連携し、地域に貢献したい」と発表。高校生が

地方創生のためにできることについて、提案しました。



地方創生について提案する島田高校の生徒